

### 市木サクラ育苗事業 エドヒガンのサクランポで遊ぼう

サクランポの種が60本のサクラの苗に

市制施行60周年記念「市木サクラ育苗事業」の一環で行われるワークショップ「エドヒガンのサクランポで遊ぼう」の参加者を募集します。



ワークショップでは、里山林でエドヒガンのサクランポ拾いをした後、果実染めであちわを作るほか、種まきの講習も行われます。

また採集した種から60本の苗を育苗し、公共施設などに植樹します。

とき=6月7日(土)午後1時~3時▷ところ=国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」▷定員=30人▷申込み=同センター啓発施設 ☎(735) 7282へ

### のぼり旗と横断幕の 協賛事業者を募集します

事業者名を印刷した旗などを作りますか？

60周年記念事業などで掲げる、のぼり旗と横断幕の作成に協賛する事業者を募集しています。のぼり旗と横断幕には協賛事業者名を印刷します。協賛申し込みは1口1万円からで、1口につきのぼり旗5本。ただし、2口で横断幕小サイズ(縦90cm×横135cm)2枚、3口で横断幕大サイズ(縦140cm×横220cm)2枚を選択できます。作成予定数はのぼり旗20本、横断幕4枚。掲出期間は、受け付け・制作後から12月末まで。希望者は申込書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を書き、6月30日(月)(必着)までに〒666-8501・魅力創造課へ(ファクス(740)1315、電子メールkawa0204@city.kawanishi.lg.jpでも可)。作成予定数を超過した場合は期日前に締め切る場合があります。詳しくは魅力創造課 ☎(740)1121へ。



### 「NHK のど自慢」 観覧者を募集します

6月1日に開催！ 募集は5月7日まで

60周年記念事業の一つとして、市とNHK神戸放送局が6月1日(日)午前11時45分から文化会館で行う「NHKのど自慢」の観覧者を募ります。ゲストは歌手の中村美律子さんと北山たけしさんです。

往復ハガキ(私製は除く)の往信用裏面に郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号と、返信用表面(返信用裏面には何も書かないでください)に郵便番号、住所、氏名を書き、5月7日(水)(必着)までに〒666-8501・総務課「NHKのど自慢」観覧係へ。応募は1人1通に限り、定員超過の場合は抽選。1枚で2人(1歳以上)まで入場できる入場整理券を送ります。詳しくは同課 ☎(740)1140へ。



北山たけしさん 中村美律子さん

### 市制施行60周年記念 消防ポンプ操法大会

市内29の出場部が演技を競い合う



市消防団が、市制施行60周年記念消防ポンプ操法大会を、5月18日(日)午前8時半から川西北小学校で開催します(雨天の場合は25日(日))。

消防団員が消防の任務の重要性を相互に確認するとともに、普段の訓練の成果を発表し、消防操法技術の向上と士気の高揚を図ります。「ポンプ車の部」「小型ポンプの部」の2部門で、市内の消防団29部が操法演技を競います。詳しくは消防本部総務課 ☎(757)9945へ。



作品・写真  
お寄せください

60

## で川西市をプロモーション

### 募集 60秒のプロモーション動画作品 懐かしの写真ワークショップ参加者

市では、60周年にちなんで、「60秒」動画と「60年」の歴史を古い写真とともに語り合う市民を募集します。詳しくは魅力創造課 ☎(740)1121へ。

#### あなたの作品がCMに

市をPRする60秒程度の市のプロモーション動画(CM)を募集します。

プロ・アマチュア、個人・団体、市内外を問わず、オリジナル作品で、他のコンテンツなどに応募していないもの。CD-RかDVD-Rを9月30日(火)(必着)までに〒666-8501・市役所4階の魅力創造課へ郵送または持参を。最優秀賞(1作品)に10万円、優秀賞(2作品)に3万円の賞金などを贈呈。詳しくは市ホームページ(サイト内検索でID番号K17085を入力)に掲載の応募要項をご覧ください。優秀作品は市公式CMとして広く活用していきます。

#### 昔の写真で座談会

市内で撮影した古い写真を持ち寄り、思い出を語り合うワークショップの参加者を募集します。ワークショップの様子を撮影した動画や、集めた写真などの一部は、市制施行60周年記念事業で活用し、インターネットなどで公表します。

とき=5月25日(日)午後2時~4時▷ところ=市役所7階会議室▽対象=昭和29年以降に市内で撮影された古い写真を持つ60歳前後の人▽定員=20人(定員超過の場合は市民を優先に抽選)▽申込み=5月20日(火)までに、電話かファクスで、住所、氏名、年齢、性別を書き、同課 ☎(740)1121・FAX(740)1315へ

### こんにちは 市長の大塩です

日ごとに新緑の色も増し、すがすがしい風が心地よい季節になってきました。五月晴れの空に親子のこいのぼりが並んで泳ぐ姿を見かけると、ほほ笑ましい気持ちになります。

さて、特集で紹介しましたように、4月14日、中央北地区内で起工式が行われました。以前、ここは皮革工場が多く立ち並び、本市を支える工業の中心地でした。しかし、円高や後継者不足、さらには阪神淡路大震災の影響などにより、多くの工場が閉鎖され、駅前の立地を生かしたまちづくりが望まれていました。そして16年前、地権者をはじめ、さまざまな関係者の皆さんの協力を得て、再開発へとかがりが切られました。折しも本市は今年、市制施行60周年の節目の年を迎えます。

### 新しいまちのカタチ「キセラ川西」 21世紀の新たな市のシンボルへ

この記念すべき年に、起工式の盛り砂にくわえ入れられたことは、本当に感慨深いものがあります。たくさんの応募から「キセラ川西」という愛称に決まったこの地区は、子どもたちが走り回れる「中央公園」や、水遊びも楽しめる「せせらぎ遊歩道」などを備えた新しいまちをめざしています。整備は新たな一歩を踏み出しますが、市民の皆さんと協働で進める取り組みは既に始まっています。完成時には、地域の活性化はもとより、市全体のグレートアップにつながるものと考えています。



皆さんの思いを込めて描かれた「キセラ川西」の完成予想図。これから着実に実現して、21世紀の新たなシンボルとなるでしょう。